

冬休み 家読のすすめ

(うちどく)



今、家読が旬です！

間もなく子どもたちが楽しみにしている冬休みです。大人にとっては、普段の忙しさに拍車がかかる年末年始ですが、子どもたちにとっては、クリスマスやお正月を迎え、特別にわくわくする時季です。

冬休み、子どもたちのわくわく感を家族みんなで味わいませんか？！ 「家読（うちどく）」もその一つの方法です。読書をきっかけに、家族のコミュニケーションが広がります。子どもにとって、家族みんなで本に親しみ、思いを共有する時間は、簡単には折れることのない「しなやかな心」を育ててくれるはずです。

家読って？

家族みんなが「おうちで読書」を略して「うちどく」です。

読書をきっかけに、家族のコミュニケーションを豊かにしようという試みです。



どんな本を読めばいいの？

迷った時には、ぜひお近くの図書館へ足を運んでください。司書さんがおすすめの本を紹介してくれます。秋に開館した新県立図書館では「子ども読書支援センター」で子どもたちの読書を応援しています。

中・高生も家読を！

「家読」は小さな子どもたちのもの、と思っていませんか。いえいえ、感受性が豊かな中・高生にこそ「家読」で家族とのコミュニケーションを図って欲しいと願っています。例えば「ツナグ」（辻村深月）を読書と映画で親子揃って楽しむ、なんていかがですか？

毎月第一日曜日「家庭の日」、第三日曜日「青少年を育む日」を「家読の日」に推奨しています。家族のふれあい読書をしましょう。

てをつなぎ ころを ゆたかに しなやかに

「しなやかな心の育成プロジェクト」推進標語 最優秀賞 竜王小 飯野杏梨

山梨県教育委員会 社会教育課 055-223-1773